

# 五小っ子

平成29年度 学校便り第19号 (12月12日)

島原市立第五小学校  
校長 永田 俊文

## 学校教育目標

『進んで学び、思いやりの心を持ち、  
心身ともにたくましい子どもを育成する』

○ やさしい ○ かしこい ○ たくましい  
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を  
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。



## 持久走大会

今季一番の冬将軍がやって来る予報です。路面凍結にも注意  
が必要な時期となりました。

さて、12月5日の持久走大会には沢山の応援と運営補助有り難うございました。  
お陰様で11月8日から全校朝・昼マラソンに取り組んできた子どもたちがその成  
果を発揮すべく、持久走大会にチャレンジする事が出来ました。

昨年度から復興アリーナ周回コースに変わりましたが、会場まで徒歩による移動  
も何のその、強い浜風にも負けず全員完走出来ました。  
走りきった子どもたちの感想です。

～学級通信から引用～



— 気合いを入れる2年生のスタート —

「くつが2かいぬげたので8ばんでした。  
どうろだったので、あしがいたかったで  
す。がんばりました。」 (1年男子)  
「おにいちゃんとおかあさんとおばあ  
ちゃんがわたしをおうえんして、きもちが  
つたわってきました。さむかったけど、  
たのしくてうれしかったです。」

(1年女子)

と突然のトラブルに負けなかった人、お  
家の人の声に力が湧いた1年生がいます。

「本当は走りたくなかったけれど、最後  
まで歩かずに走りました。」と弱い心に  
負けなかった人もいます。  
どの感想にも共通するのは、完走して

満足感を得たことのようにです。

1年生は小学校初めての持久走大会です。練習が始まった頃は、その距離の長さ  
に途中で歩く子、転んで泣き出す子もいました。長距離を走ることが苦手な子もい  
たことでしょう。それでも苦しいことから逃げずに練習に取り組み、持久走大会を  
走り抜いた子どもたちをほめていただけたらと思います。

昨日の全校集会で入賞者の表彰を行いました。

その後の講話では『完走』したことの素晴らしさを讃えるとともに、当日体調不良  
等で走ることが出来なかった人も先生達をサポートしたり、友達を一生懸命応援し  
たりして『完走』と同じ位に立派だった事を伝えました。

次に「持久走大会がとっても楽しみだった人は手をあげなさい。」と質問した

ところ、1年生が沢山手をあげました。「反  
対に持久走大会は嫌だなと思う人？」の質  
問には中・高学年がたくさん手をあげまし  
た。その通りだと思います。

そして次のように締めくくりました。

『**楽で楽しいこと**』ばかりをさが  
すのではなく、持久走大会のよう  
に『**楽じゃないけど楽しいこと**』  
(達成感のあること)に挑戦し  
なさい。



— 寒風の中、駆け抜ける子どもたち —

体力づくりの取組はまだ続きます。2月21日(水)の予定している『長縄大会』  
です。

保護者の皆様、今後とも応援よろしくお願いいたします。

**注意喚起！！** 島原市内でも昨日「インフルエンザによる学級  
閉鎖」措置がとられた小学校もあります。うがいと手洗いの励行  
そして、人混みでのマスク着用をこころがけましょう。



ひよこ  
まど・みちお

ひよこたちがなく  
じぶんのなまえをいって  
おかあさんがここにいないように  
わすれないように

みんななくなく  
おかあさんのむこうの  
もつととおくへきこえるように  
せかいじゅうにきこえるように  
かみさまにきこえるように

ピヨピヨピヨ  
キヨキヨキヨ  
ミヨミヨミヨ  
チヨチヨチヨ  
ピヨはここよ  
キヨはここよ  
ミヨはここよ  
チヨはここよ

自分の居場所を持っていること、そうした日常生活をおくることは、大変重要なこ  
とだと思います。

ピヨもキヨもミヨも、そしてチヨも自分の存在を一生懸命主張しています。

「おかあさん わたしは ここよ。」

忙しい師走を迎えると決まって思い出す詩です。どんなに忙しくとも子どもたち  
の心に寄り添ってあげたい。そう思います。